

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 成田市立玉造中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 286-0077

E-mail : jh-tama@city.narita.chiba.jp

Website : www.city.narita.chiba.jp/edu/jhs-tamatukuri/index.html

児童生徒数：男子 名 女子 名 合計 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ユネスコスクール実践校としては、生徒会本部役員の生徒が中心となって国際文化交流、福祉活動、環境美化活動などに取り組んでいる。中でも、地域美化活動（街角クリーン作戦やリサイクル活動）、福祉活動（敬老会）への参加など「地域に根ざした活動」を通して、地域の方々との交流を深め、地域を愛する心を育てていきたいと考えている。

また、国際文化交流、国際理解においては、国際空港を有する市としての地の利を生かして、成田市を訪れた外国人の方に日本の文化を説明するおもてなし事業への参加などを通して、国際理解を深め、コミュニケーション能力を高めていくことをめざしている。

○国際理解・国際交流

- ・ 成田ユネスコ協会からの依頼を受け、成田市観光協会で外国の方と一緒に日本の伝統的な文化を体験。
英語を使ってのコミュニケーション活動を行った。
- ・ 成田ユネスコ協会のご尽力により、セルビア民族舞踊団公演を本校で行った。セルビア文化を学び、歌や踊りで交流した。
- ・ 世界遺産の紹介
成田ユネスコ協会からの依頼を受け、地域の方々に世界遺産と成田の伝統的遺産の説明会で案内役を行った。

○世界遺産学習

- ・ 3学年修学旅行(奈良京都・方面) 現地で英語を使って外国の方にインタビューをして日本文化を紹介した。

○環境問題への取り組み

- ・ 街角クリーン作戦
年2回(5月と12月) 生徒会中心に部活動の生徒と職員が地域の方々と一緒になって地域のゴミ拾いを行った。
- ・ リサイクル活動
年2回(6月と11月) PTA と生徒が一緒になり地域からリサイクル品を回収し、業者へ引き渡しを行った。身近な地域のゴミ、リサイクル品の多さを実際に体感し、環境問題を考える、一助になっている。

○福祉への取り組み

地域の敬老会に生徒がボランティアで参加をし、会場準備、お年寄りの世話、出し物の提供、後始末を行っている。高齢化の問題を肌で感じ、これからの福祉の大切さを考える一助となっている。

○書き損じハガキの仕分け集計作業の取り組み

- ・ ユネスコ寺子屋運動の一環としてボランティアで生徒が参加した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）